

# 地球惑星科学基礎 III 演習 (5)

2009 年 10 月 30 日配布

## 1 Fourier 級数の問題 (2)

- i) a) 以下の関数に対応する Fourier 係数を求めなさい.

$$f(x) = \begin{cases} 0, & (-5 < x < 0) \\ 3, & (0 < x < 5) \end{cases}$$

周期は 10 とする.

- b) 対応する Fourier 級数を書き下しなさい.

- c) 関数  $f(x)$  の不連続点  $x = -5, 0, 5$  において Fourier 級数はどのような値をとるか.

- ii)  $-\pi < x < \pi$  において  $f(x) = x^2$  となる周期  $2\pi$  の関数を Fourier 級数展開しなさい.

- iii) 前設問の結果を用いて,  $\frac{1}{1^2} + \frac{1}{2^2} + \frac{1}{3^2} + \dots = \frac{\pi^2}{6}$  を証明しなさい.

- iv) 偶関数を Fourier 級数展開したときには  $\sin$  の項は現われないことを証明しなさい.

- v)  $f(x)$  が  $-L < x < L$  の区間で定義され, 周期  $2L$  の奇関数のとき, この関数の Fourier 係数は

a)  $a_n = 0$

b)  $b_n = \frac{2}{L} \int_0^L f(x) \sin \frac{n\pi x}{L} dx,$   
となることを証明しなさい.

- vi) 以下の関数に対応する Fourier 係数を求めなさい.<sup>1</sup>

$$f(x) = \begin{cases} 3, & (0 < x < 5) \\ 0, & (5 < x < 10) \end{cases}$$

周期は 10 とする.

---

<sup>1</sup>この関数は,  $-\infty < x < \infty$  の範囲で眺めると, i) で考察した関数と同じである. 従って, Fourier 級数は a) で求めたものと同じになるはずである.

## 2 Parsevalの恒等式の問題

- i) 周期  $2L$  の関数  $f(x)$  が区間  $(-L, L)$  において  $\frac{a_0}{2} + \sum_{n=1}^{\infty} (a_n \cos \frac{n\pi x}{L} + b_n \sin \frac{n\pi x}{L})$  に収束するとき, Parseval の恒等式

$$\frac{1}{L} \int_{-L}^L f(x)^2 dx = \frac{a_0^2}{2} + \sum_{n=1}^{\infty} (a_n^2 + b_n^2) \quad (1)$$

を証明しなさい.

- ii) 次の関数を Fourier 級数展開しなさい:

a)  $f(x) = \begin{cases} x, & (0 \leq x < 2) \\ -x, & (-2 < x < 0) \end{cases}$

周期 4.

- b) 前設問の Fourier 級数に対応する Parseval の恒等式を書き下しなさい.  
c) 前設問の結果をもちいて, 無限級数和

$$\frac{1}{1^4} + \frac{1}{3^4} + \frac{1}{5^4} + \cdots + \frac{1}{n^4} + \cdots \quad (2)$$

を求めなさい.